

令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：第二区地区行政センター

日時：令和6年4月18日（木）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

学校の先生方には日頃から子どもの指導、運営に大変ご尽力いただき、非常に敬意と感謝の念を持っている。

しかし、学校と地域が連携して地域創生をやっていきたいと思っているが、学校の先生方が忙しく、地域に顔を向ける余裕が無い。学校の先生に余裕ができるような仕組みづくり・職場環境の改善を行政の方で重点的な課題として取り組んでいただきたい。

飯能第二小学校は小規模特認校として通学の相談を受けるが、場所が遠くて送迎に課題がある。例えば、スクールバスを出すなど行政の配慮があればと思う。

第二区に住みたいという人も市街化調整区域のため、結局、原市場や美杉台に行ってしまう。昨年も発言したことだが、是非、市街化調整区域のところを一律の基準で開発を抑制するのではなく、地域の実状に応じて開発許可の基準を変える。制度面で少し検討いただけると有難い。

【回答】

教職員が余裕をもった教育を行えるように少し時間がかかるとは思います。行政、教育委員会、学校、地域とが一体となって、協議を重ねて良い方向を導き出せればと考えております。

小規模特認校につきましては、色々な手段を使ってPRをしております。通学の手段について何が最適か、学校・行政・地域と協議を進めていければと思っております。

市街化調整区域につきましては、区域区分の見直しは考えられません。他の手法として、南高麗の農のある暮らし「飯能住まい」方式なども研究はしましたが、イエローゾーン（土砂災害警戒区域）を除くと該当区域が多くありません。第二区に当てはめてどこまで効果が得られるのか、現時点での状況では見通しとしては厳しい状況です。

今後、行政と地域で協議をしていかななくてはならないと思っております。

【ご意見②】

飯能第二小学校創立150周年と言われるが、断絶と継続を認識したうえで祝うべきだと思う。断絶とは戦前の大日本帝国憲法や教育勅語を中心とする教育と戦後の日本国憲法や教育基本法を中心とする教育。戦前の教育を基に今の教育がある。継続は曾祖父母・祖父母などが学校で培った色々な経験で次の世代に紡がれるべきものである。

昨年、飯能市市制施行70周年ということで、色々な企画をされて、私も一役に何日か通わせていただいた。また70周年記念事業の特別展で原市場のことを企画していただき感謝している。

【回答】

貴重なご意見として承っておきます。ありがとうございます。

【ご意見③】

久須美自治会で平成20年に側溝の拡幅等の要望を出した。道路課に確認すると、予算が付くまで待つように言われた。優先順位で小さな工事でなく大きな工事に先に行ってしまうのは分かるが、15年間も予算が付くまでお待ちくださいという対応は正しいのか検討いただきたい。

【回答】

ご迷惑をおかけしております。何か理由があるのか、直接確認をして回答させていただきます。

【ご意見④】

市道の再舗装について、限られた予算の中でやりくりされていて大変なことだろうと想像するが、道路の再舗装について、既存の舗装の上に舗装を重ねることをしている。何回か続くとその部分だけ厚みが増し、道路の端が斜めや段差になるなど歩きにくくなり、車いす・シルバーカー・ベビーカーも通りづらい状況。再舗装の仕方として、時折、上を剥いで再舗装していただく取組を是非お願いしたい。

【回答】

貴重なご意見、ありがとうございます。

確かに、既存の舗装の上に舗装を重ねる修繕は、どうしてもかまぼこ型になり、路肩が歩きづらく、自転車やベビーカーでも押しづらいこともあると思います。予算の関係も当然ありますが、可能な範囲で道路の路肩をあまり段差が生じないように努力いたします。道路の路面状況を見て、まだ下をそのままにして、残して被せる舗装で補修可能な道路と、そうではなく、ガタガタにひびが入っているところだと一度剥がしませんと持ちませんので、その辺を良く見極めて施工させていただきます。

【ご意見⑤】

全国各地で地震が起きている。私が住んでいる飯能市は地盤が強く、災害に強いということで購入した訳だが、飯能市は地盤が固く、災害に強いまちとしてアピールしたらどうか。

万一、市内で災害が起きたら、能登半島地震のように電気・水道が1か月経っても復旧しないことが飯能でも起きるのか。

永田台一丁目のメイン道路側の松の枯れ枝、倒木がそのままの状態である。市では年2回の草刈りを行っているが、これを3回にしたいと要望書を出したが予算がないということ。以前はボランティア組織で色々整備をしていたが、全員が後期高齢者になり解散した。一人での作業は、危険なため、自治会でもあまり行えない。綺麗なまちにするため、市でもできる限り協力してほしい。

【回答】

1点目の地盤が強いことをPRすべきではないかということですが、色々な機会を

設けて、機会あるごとにPRしております。地盤解析を専門とする会社から、3年前に表彰を受けました。そのことは全国的に、冊子も出ていますし、インターネットでも配信し、PRさせていただいております。

既設の水道管の耐震管への敷設替を計画的に実施しておりますが、全線の耐震化までには数年かかります。着手はしているのでご理解いただきたい。

能登半島地震のような大きな地震が発生した場合、今までの耐震管では持たない訳ですので、そういったところが同じような状況になるのではないかと心配ですが、なると思っていただ方がいいのではないかと思います。ですから、備えとして水の汲み置きや市の方でも市民生活への影響を最小限に抑えられるよう、被災時の水道の対応につきまして、研究しております。

道路側の松の枯れ枝、倒木の関係ですが、非常に大変な労力を使っていたいてありがとうございます。伐採、また切り落とした枝の処分には費用がかかります。これからそれをどのようにしたら綺麗な法面、環境が保たれるか、これにつきましては、関係者で協議をさせていただければと思います。

【ご意見⑥】

空き家問題について、この地区は調整区域だが、空き家に対して利用する家族がいるのか、そうした場合にどのようにしたらいいのかと考えた。

今年度空き家等の活用や解消に向けた空き家実態調査に対する予算が計上された。空き家バンクの制度を大いに活用して人を呼び寄せる施策としてほしい。

【回答】

空き家の利活用は非常に有効だと思います。

今年度、空き家実態調査をさせていただくことになっております。また空き家バンク制度によって、その空き家を有効に使っていただく、これも人口を増やす施策の一つだと思います。そのような手法は、有効な手段だと思いますので、積極的に検討させていただきます。

【ご意見⑦】

飯能市も人口が段々と減っている。当然税収も減る中で、支出を減らすことを考えるのも一つではないかと思う。例えば、街路樹も多くあるが、街路樹も何年かに一度剪定をされていて、お金がかかると思う。例えば、1本置きにするとか、その年はお金がかかるとか、その後減っていくのではないかと思う。支出を減らすといったことも考えていく必要があると思う。

空き家の関係だが、池袋から飯能まで直行便の電車を1日、朝と夕方に出してもらえないか。飯能が東京、池袋から非常に近くなって、飯能の空き家に入ってもいいと、住みたいと思ってもらえるのではないか。

まちとしては十分、魅力あるまちだと思うので、そういった施策ができればいいのではないか。

【回答】

大変貴重なご意見でございます。確かに街路樹ですとか、公園の木ですとか、毎年育って大きくなっていき、その手入れとなりますと毎年経費が膨らんでいきます。今のご提案を参考にさせていただき、これからの市政に活かしていきたいと思っております。

出すものを削るということは素晴らしい提案だと思いますので参考にさせていただきたいと思います。

確かに、電車の直行便があれば飯能市の価値が上がるのではないかというご意見ですが、市としても機会があれば西武鉄道株式会社様へ提案させていただければと思います。

【ご意見⑧】

ツデーマーチで中学生ボランティアが募集される。午前7時頃に市役所に集合して、午後3時から4時までかかる。その際に配られるのはペットボトルの水500ml 1本とおにぎり2つ。別に水筒を持って行かせるが、気温にもよるが熱中症寸前の状態で家に帰ってくる。このことについてどう思っているのか。管理がきちんとされていないのであれば中学生にボランティアをお願いするべきではないのではないか。改善していただきたい。

【回答】

気温が上がると熱中症は心配です。状況を確認させていただきます。